

案件概要書

2023 年 4 月 25 日

1. 基本情報

- (1) 国名：東ティモール民主共和国（以下、「東ティモール」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ディリ県
- (3) 案件名：ギド・ヴァラダレス国立病院整備計画（The Project for Improvement of Guido Valadares National Hospital）
- (4) 計画の要約：本計画は、ギド・ヴァラダレス国立病院において、医療施設及び関連医療機材を整備することにより、医療サービスレベルの向上を図り、もって同国の保健医療体制の改善を通じた社会サービスの普及・拡充に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

東ティモールは 2022 年 11 月の ASEAN 首脳会議にて ASEAN への原則加盟が認められ、一刻も早い正式加盟を目指しているところであり、他の ASEAN 加盟国に比して相対的に脆弱な社会インフラ基盤の向上を図ることが喫緊の課題となっている。中でも、優先課題として同国が重視する保健分野に対する日本からの支援への期待が示されており、同国の拠点病院であるギド・ヴァラダレス国立病院（以下、「同病院」という。）に対する支援を実施することは両国の外交関係の構築という面で意義が大きい。また、国民に直接行き届く支援は、親日感情の醸成に繋がり、我が国に対する同国民からの信頼強化、二国間関係強化への貢献が期待される。なお、同国はインド太平洋における重要な場所に位置しており、同国の安定的な社会基盤の構築を図ることは、インド太平洋地域の安定と繁栄、ひいては我が国の安定に資する。

- (2) 当該国における保健医療セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

東ティモールは 2002 年 5 月に独立回復した東南アジアで最も若い国で、総人口の約 60% を 25 歳以下の若年層が占め、65 歳以上の高齢者の割合は約 4% となっている（世銀 2020 年）。同国において最も多い死因は脳卒中、続いて虚血性心疾患と、緊急治療が生死を分ける病気であり、脆弱な医療体制は同国における喫緊の課題の一つとなっている（Institute for Health Metrics and Evaluation 2019）。同国政府は、「政府開発計画（2011－2030）」において保健セクターを含む社会資本を重点分野の一つとして掲げており、「国家保健セクター戦略計画（2011-2030）」では、2030 年までに全ての国民がアクセス可能な質の高いプライマリ・ヘルスケアと医療の包括的なサービスの提供を目標の一つとしている。2022 年 5 月にホルタ大統領が行った就任スピーチにおいても、五つの喫緊の課題の一つとして保健が挙げられている。同病院への支援については、ルアク首相から日本に対して要請がなされるなど、先方政府からの期待も大きい。

同国における公的保健医療施設は、第一次レベル（コミュニティヘルスセンター等）、第二次レベル（県病院等）、第三次レベル（国立病院）に分類されるが、各県における第二次レベルの医療施設が不足していることから、多くの患者が同国唯一の第三次レベルである同病院に集中し、入院や手術まで半年以上を要するなど、医療体制が不十分な状況にある。現在、同病院の手術室は4室（緊急用1室、計画手術用3室）、ICUはベッド数が6床、緊急部門は限られたスペースにベッドが29床と、病床占有率はいずれも常に100%を超えている。また、高度な技術が必要な手術においては、施設や医療機材、高度な技術を有する医師の不足等により対応ができず、患者をインドネシア、豪州等に政府負担で搬送している。加えて、敷地内の建物の多くは築20年以上、外来棟は築50年以上が経過しており、多くの施設・設備が老朽化あるいは故障しており、特に手術部門は整備の緊急性が高い状況である。また2012年に整備計画が立てられたが未着手である透析部門の整備も喫緊の課題である。このような状況を踏まえ、同国保健省は自己予算にて小児病棟の整備を計画しており、また同病院におけるマスタープラン調査を実施の上同病院施設の改修計画（全4期）を作成しており、本計画は同マスタープランで優先度が高い事項に対応するものである。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容

【施設】医療施設の新設（約 5,000 m²）：救急部門、透析部門、手術部門、ICU、CSSD（Central Sterile Supply Department）、医療教育部門、機械室

【機材】上記各部門に係る機材：人工透析装置、无影灯、手術台、バイタルサインモニター、人工呼吸器、高圧蒸気滅菌装置等

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細設計及び施工・調達監理、施設及び機材の維持管理等に係る技術指導等

② 期待される開発効果

年間の手術件数の増加：3,628 件（2021 年実績値）→約 5,700 件（事業完成3年後の目標値）等により、医療サービスの改善への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：東ティモール保健省及びギド・ヴァラダレス国立病院

④ 他機関との連携・役割分担：第一次、第二次レベルの医療に対しては、豪州、韓国、世銀、WHO、UNICEF 等が関連の協力を展開中。またマスタープランに基づく同病院の改修計画に当たっては、世銀が既存小児病棟への機材提供を予定しているとの情報があり、同病院支援における相乗効果が出せるよう情報共有に努める。

⑤ 運営／維持管理体制：同病院は独立採算制の組織であるものの、財務省で決定・配分される予算内で病院運営が行われている（人件費・維持管理費用を含めた2022年度予算は約1,100万米ドル）。病院施設の維持管理は、院内の施設品質

管理部に配置されている施設監理者 1 名が図面管理や小規模な増改築、修繕を担当している。医療機材（約 800 台）の維持管理は Bio-Medical Engineering（BME）部門のエンジニア 5 名によって、機材の稼働状況の確認や機材リストの更新、故障の対応等が実施されており、年間の点検計画に沿って保有機材の維持管理に注力している。

(2) その他特記事項

- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 対象施設の建設予定地は、日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力で整備を行った救急外来施設及び放射線科超音波検査室と並ぶ同病院の正面部分を想定しており、日本の支援施設による広報効果も期待できる。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

カンボジア向け無償資金協力「スバイリエン州病院改善計画」（評価年度 2020 年）の事後評価等では、事業の効果を適正に把握するために設定していた定量的効果の指標が、病院が定期的に集計している指標と異なり、収集されたデータでは目標達成度の判断が困難となったとの教訓が述べられている。本計画においても、計画時に実施機関による指標の定義への理解を深め、事業実施中にデータ収集体制が適切に構築されているか定期的に確認するよう努める。

以 上

[別添資料] 地図

〔別添資料〕地図

ギド・ヴァラダレス国立病院整備計画 地図



東ティモール国 デイリ市

出典：Google map



ギド・ヴァラダレス国立病院

出典：東ティモール現地調査報告書 (2022 年 7 月)